

平成 2 2 年千葉市教育委員会会議  
第 9 回定例会会議録

千葉市教育委員会

平成22年千葉市教育委員会会議第9回定例会会議録

日時 平成22年9月21日(火)

午後2時開会

午後3時25分閉会

場所 教 育 委 員 会 室

出席委員 委 員 長 津田 英彦  
 委 員 岩沼 静枝  
 委 員 内山 英夫  
 委 員 梅谷 忠勇  
 委 員 和田 麻理  
 教 育 長 志村 修

出席職員	教 育 次 長	武田 昇	保 健 体 育 課 長	井谷 芳明
	教 育 総 務 部 長	西田 典夫	教 育 セ ン タ ー 所 長	山下 正敏
	学 校 教 育 部 長	時田 猛	養 護 教 育 セ ン タ ー 所 長	奥村 兼弘
	生 涯 学 習 部 長	宇留間 正	生 涯 学 習 振 興 課 長	杉戸 利一
	総 務 課 長	森島 俊之	社 会 体 育 課 長	成毛 博光
	企 画 課 長	高須 右一	中 央 図 書 館 管 理 課 長	田中晋二郎
	学 校 財 務 課 長	伊藤 太一	総 務 課 総 括 主 幹	大崎 賢一
	学 校 施 設 課 長	初芝 勤	学 事 課 調 整 主 幹	湯浅 忍
	学 事 課 長	芝崎 易生	総 務 課 主 幹	川名 和弘
	教 職 員 課 長	三野宮純一	生 涯 学 習 振 興 課 主 幹	古川 和明
	指 導 課 長	小寺 道明		

書 記	総 務 課 長 補 佐	南 久志	総 務 課 経 理 係 長	市川 康次
	総 務 課 委 員 会 係 長	小池 正彰	総 務 課 主 査 補	諏訪 瑞穂
	総 務 課 総 務 係 長	小柳 寛	総 務 課 主 任 主 事	藤井 拓也
	総 務 課 人 事 係 長	中尾 嘉之		

- 1 開会  
津田委員長より開会を宣言
- 2 会議の成立  
全委員の出席により会議成立
- 3 会議録署名人の指名  
津田委員長より内山委員を指名
- 4 会期の決定  
平成22年9月21日（1日間）ということで全委員異議なく決定
- 5 議事日程の決定  
議事日程を全委員異議なく決定
- 6 会議録の承認  
平成22年第6回定例会及び第7回定例会並びに第3回臨時会会議録を全委員異議なく承認
- 7 議事の概要
  - (1) 非公開事項の決定  
議案第47号から議案第49号までを非公開審議とする旨決定
  - (2) 報告事項  
報告事項(1) 平成22年第3回千葉県議会定例会について  
総務課長より報告があった。  
報告事項(2) 大雨による被害及びその対応について  
学校施設課長、生涯学習振興課長より報告があった。  
報告事項(3) 平成22年度全国学力・学習状況調査の結果について  
指導課長より報告があった。  
報告事項(4) 平成22年度中学校体育大会の結果について  
保健体育課長より報告があった。  
報告事項(5) 第58回日本PTA全国研究大会ちば大会について  
生涯学習振興課長より報告があった。  
報告事項(6) 生涯学習・社会教育施設等における夏季休業中の子どもたちを対象とする主な事業の実施結果について  
生涯学習振興課長、社会体育課長、中央図書館長より報告があった。
  - (3) 議決事項  
議案第46号 千葉県教育委員会組織規則の一部改正について  
総務課長より説明があった後、審議。全委員異議なく、原案どおり可決した。  
議案第47号 千葉県生涯学習審議会委員の任命について

生涯学習振興課長より説明があった後、審議。全委員異議なく、原案どおり可決した。

議案第48号 平成22年度千葉市教育功労者表彰について

総務課長より説明があった後、審議。全委員異議なく、原案どおり可決した。

議案第49号 職員の人事について

総務課長より説明があった後、審議。全委員異議なく、原案どおり可決した。

#### (4) 発言の要旨

報告事項(1) 平成22年第3回千葉市議会定例会について

津田委員長 総務課長、報告をお願いします。

総務課長 報告事項(1)「平成22年第3回千葉市議会定例会について」、報告します。

第3回定例会は8月26日から9月17日までの会期で、議案質疑、教育未来委員会、代表質疑、決算審査特別委員会、一般質問等が行われました。

先ず、教育委員会に係る議案等の審議状況についてですが、教育委員会会議第8回定例会でご審議いただきました「千葉市学校給食センター設置管理条例の一部改正」については、教育未来委員会の審査を経て、9月6日の本会議で原案通り可決されました。次に、「花見川区にもう一つ図書館をつくる会」から、8月17日に議会に対して提出された「花見川区にもう一つ図書館をつくることに関する陳情」ですが、8月31日の教育未来委員会において審査が行われ、不採択となりました。次に、市長から提案のあった「千葉市教育委員会委員の任命について」ですが、9月6日の本会議において「篠原ともえ」氏の任命について全会一致で同意されました。平成21年度の決算の認定についてですが、教育委員会に関わる、「一般会計歳入歳出決算」、「学校給食センター事業特別会計歳入歳出決算」、「公共用地取得事業特別会計歳入歳出決算」については、決算審査特別委員会の審査を経て、9月17日の本会議で認定されました。

次に、8月30日に行われた議案質疑ですが、教育委員会が提案した、「学校給食センター設置管理条例の一部改正」について1議員から質問がありました。主な内容は、「PFIによる給食センター事業の評価と課題」、「アレルギー食への対応」等についてです。

次に、9月2日から9月6日に行われた代表質疑ですが、6

会派全てから教育行政についての質問がありました。主な質問項目は、「小学校給食調理業務委託」、「加曽利貝塚」、「学校教育推進計画」、「新学習指導要領」、「教職員定数改善計画」、「適応指導教室」、「教科書採択」、「夜間学級」、「公民館」、「生涯学習推進計画」、「キャリア教育」、「道德教育」等です。

最後に、9月10日から9月16日に行われた一般質問ですが、19議員が質問を行い、うち9議員から教育委員会への質問がありました。主な質問項目は「校舎・屋内運動場の耐震診断と改修」、「志ある若者をふやす政策」、「学力向上策」、「公民館図書室の予算」、「ジェンダーフリー教育」、「学習支援員」、「スクールカウンセラー」、「脳脊髄液減少症」、「子どもが学ぶ環境」、「学校適正配置と跡地利用」、「通学路」、「こじま公園跡地」、「熱中症対策」、「社会教育での情報リテラシーを高める取組み」、「子ども議会」、「新宿小学校の大規模校化」等です。

## 報告事項(2) 大雨による被害及びその対応について

津田委員長 学校施設課長及び生涯学習振興課長、報告をお願いします。

学校施設課長 報告事項(2)「大雨による被害及びその対応について」、報告します。

9月8日の、台風9号から変わった熱帯低気圧による大雨により、千葉市でも1時間当たり67.5mmという観測史上最大の降水量を観測しました。それによって、学校においては13件の被害がありました。ほとんどが雨水の流入による被害であり、その多くが、自然排水や職員による排水作業で対応できています。業者による対応を依頼したものは、次のとおりです。

源小学校：屋内運動場ステージ脇からの雨漏りにより火災報知器が誤発報し、火災報知機のセンサー交換と天井の修繕が必要となりました。被害額は30,000円。

幕張中学校：校舎廊下部分のコンセントの内部配管に雨漏りによる浸水があったもので、業者によりボックスを外し、排水を行いました。

稲毛小学校：隣を流れている草野水路が氾濫し、屋内運動場が床上浸水したもので、汚水による汚れのため、床材消毒を実施し、21,000円の被害でした。2～3時間にわたり冠水したため、床の乾燥に伴い反りが出た場合、修繕の必要

があることから経過を観察している状態です。

院内小学校：現在施工中の防水改修工事部より階下へ浸水しました。

貝塚中学校：校庭に5～10cmの幅の亀裂が、長さ約100mにわたり生じたもので、原因は調査中ですが、地下に排水管が埋設されているため、その排水管の漏れの有無の検査をしています。応急処置としては業者による埋め戻しで対応しています。

市立千葉高等学校：法面が7m程度の幅で3箇所、約20mにわたり崩落したため、法面近くの校庭のU字溝が露出し、校庭に亀裂が入ったものです。復旧費については、現在見積り中ですが、350万円程度を見込んでいます。

生涯学習振興課長 生涯学習部所管施設の被害状況について報告します。

先ず、公民館では、椿森、川戸、稲毛の3公民館で、社会体育施設では、千葉市武道館、こてはし温水プールで、図書館では、中央、花見川、稲毛、若葉の4図書館でそれぞれ雨漏りがありました。若葉図書館では、雨水が流入して、土嚢を設置する等の対応をしています。いずれも、付近の方へ影響する被害はありませんでした。また、図書や備品への被害も出ていません。なお、雨漏り個所については、建築部と相談し修繕を行っていきます。

岩 沼 委 員 今回のようなゲリラ豪雨が日本各地で観測されている中で、避難場所としての学校施設について、これまでの地震災害以外にも、今回のような豪雨の時の避難場所としても本気で考えていかなければならないと思います。その際、これまでと違った部署とのコミュニケーションが必要となることもあると思うので、体制を整え、できるだけ早くそういった視点での対応をしていただくようお願いします。

梅 谷 委 員 このような豪雨は、今後も起こる可能性がかなり高いものと考えなければいけないと思います。学校での対応については岩沼委員から発言がありましたが、公民館、社会体育施設、図書館等についても、バケツや雑巾で対応できるうちはよいものの、もう少し被害が大きくなってくると、施設に重大な損傷がおきること考えられるので、なんらかの中長期的な視点での対応を検討いただければと思います。

志村教育長 昨年度、老朽化している図書館の視察を行い、特に老朽化が

進んでいた花見川図書館については、今年度、改修工事を実施する予定で、間もなく工事を開始するところでしたが、この豪雨に見舞われてしまいました。図書館の改修については、優先順位を付けて実施していきます。

報告事項(3) 平成22年度全国学力・学習状況調査の結果について

津田委員長 指導課長、報告をお願いします。

指導課長 報告事項(3)「平成22年度全国学力・学習状況調査の結果について」、報告します。

本調査は、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善につながることを主な目的としており、今年度は4月20日(火)に、小学6年生と中学3年生を対象に実施されました。今年度は、昨年度までの悉皆調査から抽出調査に変更され、本市では全体の約19.2パーセントに当たる34校が抽出されました。なお、それ以外の学校についても、希望利用校として調査用紙の配布を受け、学校の実態に応じて調査を実施しました。

調査は、「教科に関する学力調査」と、「質問紙による意識調査」で構成され、「教科に関する調査」については、主として「知識」に関するA問題と、「活用」に関するB問題に分けて実施されました。

結果の公表等についてですが、7月30日(金)に文部科学省から公表され、抽出調査校へは8月2日(月)に調査結果が提供されています。なお、今回の調査結果は抽出調査のため、本市全体の状況を必ずしも正確に表しているものとは言えないことなどから公表はいたしません。

次に、調査結果についてですが、教科に関して国から提供された資料では、国と県について、問題区分ごとに「平均正答率の95パーセント信頼区間」が示されており、これは、仮に全員を対象とした悉皆調査を行った場合には、95パーセントの確率でその平均正答率が含まれるという範囲を示しています。本市抽出校の平均正答率を見ますと、中学校の「数学 A問題」を除き、小学6年・中学3年ともに、全国及び千葉県の平均正答率の95パーセント信頼区間と同様あるいは上回る位置にあります。「数学 A問題」については、数や式に関する基礎的事項や一次関数などの数量関係を問う設問で全国を下回る傾向にあります。その平均正答率は、千葉県の95パーセント信頼

区間に位置しています。

質問紙調査の結果から言える本市児童生徒の特徴として、「携帯電話で通話やメールをしている。」「携帯電話の使い方について家の人と約束したことを守っている。」と答えた児童生徒の割合が全国より多いこと。また、小学生では「家の人と学校での出来事について話をしている。」と回答した児童、中学生では「新聞やテレビのニュースなどに関心がある。」と回答した生徒の割合が全国より高いことが挙げられます。

一方、「地域の行事に参加したことがある。」と回答した児童生徒の割合が全国より低いことや、「家で学校の宿題をしている。」と回答した児童生徒の割合が全国平均よりも低いなどの結果も、昨年と同様に示されています。なお、学校質問紙調査の結果からは、小中学校ともに、学校図書館を活用した授業を計画的に行っている割合が全国よりも高くなっており、学校図書館指導員の配置が有効に機能しているものと考えられます。

今後の対応については、各学校が調査結果を指導改善のために十分活用できるよう、学校への訪問指導等の折に指導・助言を行い、「わかる授業」の推進と「確かな学力」の育成につなげていきます。

梅谷委員 「家で学校の宿題をしている。」と回答した児童生徒の割合が低いことの理由はどのように考えていますか。また、調査の活用について、「小・中ともに具体的な指導の中や学校全体での活用が十分行われていない傾向がみられる。」とのことですが、これは調査のどのようなところから言えるのでしょうか、あるいはどのような背景があるのでしょうか。

指導課長 1点目の家庭での勉強についてですが、宿題の多い少ないに関わらず、特に中学生の勉強時間が少ないという状況が本市の学習意識調査でも出ています。様々な理由があると思いますが、理由のひとつとして、家庭での学習習慣が個別にきちんと身につけていないことが考えられるので、今後、家庭への働きかけをしていきたいと思います。また、活用が十分に図られていないということについては、これまでも個別の結果について、児童生徒へ配布して指導に活かすようにしてきましたが、問題に対しての分析を受けて、児童生徒個人に対して具体的に、「今後このような学習を行っていくと良い。」といったところまで踏み込んだ形での指導が十分に出来ていないということがあると認



識しています。本調査が、「知識」問題と、「活用」問題という構成になっていることを活かして、その分析をもとに、今後の学校訪問指導の際に、日々の授業の中でどのようなところに工夫を加えながら学習指導を行っていくことが重要かということをご指導していきたいと考えています。

和田委員 小中学校ともに、調査科目が「国語」と「算数・数学」ということなのですが、中学校では「英語」も調査科目の中に含まれて然るべきだと思います。「英語」を含めた本市独自調査を全国調査と別に復活させることや、違う形で全国の悉皆調査として行うといったことは考えられるのでしょうか。

指導課長 現在、国では専門家会議を設けて、現状2教科で行っている本調査について、今後、英語も含めて教科を増やしていくのか検討していると聞いています。本市としては、現在、独自調査を行っていませんが、英語を含めた形での実施ができるように今後検討していきたいと考えており、調査問題の内容についても、教育センターと連携しながら検討しているところです。

岩沼委員 様々な手間もかけて調査を実施しても、その結果が児童生徒への指導に十分に活かされないのであればやる意味がないと思いますので、調査結果については、しっかりと活用を進めてください。このような調査を行うと「どの学校の成績が良かった、悪かった。」といった瑣末なところに目が行きやすいので、「調査結果を活かして、日常の教育活動をこの様に展開しているのだ。」と言えるようにしてください。また、「家で学校の宿題をしている児童」という項目がありますが、家で学校の宿題をしていないのならば、どこで宿題をやっているのでしょうか。

指導課長 質問の捉え方として、「宿題はやってないが自主的な学習はやっている。」と捉えた児童生徒もいるかもしれないと考えられます。宿題については、各学校で出していると思いますが、回答の内容を見ると、若干実態と違う部分が出てきているのではないかと感じます。質問の仕方、聞き方について、もう少し検討されても良いのではないかと指摘もよく聞いています。

岩沼委員 質問の仕方によって、導かれる答えが違ってくると思います。質問に対しての回答の傾向などを分析し、「このような傾向があるので、それをこのように活かした。」と説明できるようにすべきです。そうでなければ、「質問の捉え方によって回答がばらついている。」で終わってしまい、調査の意味がなくなっ

てしまいますので、しっかり分析し、現場に活かすようにしてください。

津田委員長 せっかく得られたデータを児童生徒の指導に生かしていただきたいというのが、各委員の共通した意見だと思っておりますのでよろしくをお願いします。

報告事項(4) 平成22年度中学校体育大会の結果について

津田委員長 保健体育課長、報告をお願いします。

保健体育課長 報告事項(4)「平成22年度中学校体育大会の結果について」、報告します。

千葉県総合体育大会及び県大会・関東大会の結果については、すでに教育委員会会議第8回定例会で報告していますので、8月17日から25日まで、中国地区で開催された「全国中学校体育大会」における、本市代表選手の結果について報告します。

「全国中学校総合体育大会」には、個人6種目27人の選手が出場し、新体操で「●●●●中学校 ●●●●●」が優勝、陸上競技男子共通走高跳の「●●●中学校 ●●●●●」、水泳競技女子200mバタフライの「●●中学校 ●●●●●」が準優勝という素晴らしい成績を収めました。9月7日(火)には、選手、顧問、学校長が教育長に優勝・準優勝の報告を行いました。

内山委員 これだけの競技者が高等学校に進学しても競技を続けてもらえればと思います。そのためにも、中学校の顧問から進学先の高等学校の顧問への引き継ぎをしていただくなど、よろしくをお願いします。

報告事項(5) 第58回日本PTA全国研究大会ちば大会について

津田委員長 生涯学習振興課長、報告をお願いします。

生涯学習振興課長 報告事項(5)「第58回日本PTA全国研究大会ちば大会について」、報告します。

この大会は、8月26日のレセプションに始まり、27日の分科会、28日の全体会という日程で開催されました。

27日の分科会は、全10分科会のうち4分科会が本市内で開催され、約2,700の方が参加しました。幕張メッセイベントホールで開催された28日の全体会では、全国のPTA関係者8,283人が参加し、大会宣言が決議された後、元プロテニスプレーヤーの松岡修造氏の記念講演が行われま

した。

青少年の健全育成のため、学校、家庭、地域の連携が注目されている中、このような大きな大会を開催することができ、多くの方が参加されたことは意義のあることと考えています。

和田委員 松岡修造氏の記念講演ですが、自身のテニスプレーヤーとしての体験をもとに、現在、子どもたちの健全育成のため行っている事業について紹介いただくなど、心に残る講演でした。

報告事項(6) 生涯学習・社会教育施設等における夏季休業中の子どもたちを対象とする主な事業の実施結果について

津田委員長 生涯学習振興課長、社会体育課長、中央図書館管理課長、報告をお願いします。

生涯学習振興課長 報告事項(6)「生涯学習・社会教育施設等における夏季休業中の子どもたちを対象とする主な事業の実施結果について」、生涯学習振興課所管事業を新規事業中心に報告します。

先ず、「『夏休み星の子ランド』おとまり IN 昭和の森 ～夏休みだ！アウトドアに挑戦～」ですが、昭和の森を会場に、千葉大学の学生等のボランティアの協力を得ながら、1泊2日でアウトドアクッキング、天体観測、ウォークラリー等を実施しました。参加した子どもたちの感想からも、普段体験できない違う世代の方々との交流を通して、様々な体験が得られたことがうかがえます。

次に、今年度から開始した「夏休み子ども学習相談教室」ですが、夏休みの課題や自由研究、日頃の学習で困っていること等について、小学校の教員が指導するもので、77人の参加がありました。夏休みの課題や自由研究に関する指導ということで、開催日は8月の後半、定員は毎回30人としていましたが、自由研究などが順調に進んでいたのか、参加者は見込みより少ない結果となりました。

「千葉市ものしり検定」ですが、これも今年度から始めた事業で、小中学校の社会科の教員が中心になって結成されているNPO法人「郷土ちばに学び親しむ会」の協力を得ながら5日間にわたって実施しました。千葉市の地理・歴史・文化・産業などについて学び、最終日に検定に挑戦し認定書を受けるというもので、200人弱の参加がありました。

次に、千葉市科学館で実施した「めきめき2010実験教

室」ですが、これは生涯学習関連の事業の中でも珍しい、高校生を対象にした事業で、物理をテーマとした実験教室を開催し、19人の参加がありました。

各事業への参加者からは、総じて好意的な感想をいただいております。良い内容の企画だと思っておりますが、参加者があまり多くないことから、PRを強化するなど、より多くの方に参加していただけるような工夫が必要と感じています。また、例年になく暑い夏でしたが、ボランティアの方々のご協力を得てこれだけのものができたと考えています。

社会体育課長 社会体育課所管事業について説明します。

「千葉市少年球技大会」ですが、7月18日～8月28日の土曜日、日曜日に市内21会場で実施し、2,252人の参加がありました。

「夏季リーダー宿泊研修会」は、7月18日～20日の2泊3日で、千葉市少年自然の家において参加者68人で実施しました。研修会の他、キャンプファイヤー、ハイキング等の野外活動によりスポーツ連盟、スポーツ少年団としての自覚を身につけさせ、リーダーとしての資質向上を図りました。

子どもたちの体力向上やスポーツへの興味を深めるきっかけづくりを目的とした、柔道、アイススケート等のスポーツ教室には、全9教室に297人の参加がありました。

また、千葉市スポーツ振興財団の主催による「夏休みスポーツカーニバル」や「夏休みキッズ空手スクール」には65人の参加がありました。

参加した子どもたちの感想からは、各行事とも「友達と楽しく活動できた。」「今までできなかったことができるようになり楽しかった。」等、満足した様子が見られます。

中央図書館管理課長 中央図書館所管事業について説明します。

「図書館体験 親子図書館たんけんツアー」を中央図書館で、「図書館体験 子ども一日図書館員」をみやこ図書館をはじめ4館で実施しました。参加者数は各館合計で229人、図書館内部の普段入ることのできない施設の見学や図書館の仕事を体験したことから、子どもたちからは「図書館を詳しく知ることができてよかった。」「貸出・返却の仕事をもっとやりたかった。」等の感想がありました。

「夏のお楽しみおはなし会」には各館合わせて630人の

参加がありました。中央図書館では、「高校生が語るおはなし会」を実施し、読み聞かせを行った高校生からは、「子どもたちが真剣に話を聞いてくれた。」子どもたちからは、「一生懸命に本を読んでくれて楽しかった。」等の感想がありました。

「科学あそび」は、花見川図書館はじめ5館で実施し、合計で271人の参加がありました。

最後に「映画会」ですが、花見川・稲毛・緑図書館の3館で実施し、合計で337人の参加がありました。映画に併せて図書館所蔵の原作本を紹介するなどして、子どもたちが図書館に親しみ、関心を深める機会となるよう取り組んでいます。

岩 沼 委 員 「良い企画だから、より多くの方に参加いただけるように」との発言がありましたが、企画のPRはどのようにしていますか。また、応募方法はどうなっていますか。「応募は往復はがきで」とありますが、全ての企画で電子メールでの応募も可能になっていますか。

生涯学習振興課長 企画については、「市政だより」への掲載を基本として、同じ内容をホームページにも載せています。電子メールでの応募は、全ての企画で可能とはなっていませんが、電子メールが普及しているので検討していきます。

岩 沼 委 員 現在、電子メールで応募できる企画はありますか。

生涯学習振興課長 科学館の事業については、電子メールでの応募が可能となっています。

岩 沼 委 員 懸賞に応募する趣味があるなどしなければ、なかなか往復はがきは持っていないのではないのでしょうか。ホームページで興味のある企画を見つけて、そのページにある応募フォームからすぐに応募することができるような状況にあれば、応募は増加すると思います。このような企画に行きたいと思っている方は潜在的には多くいると思いますので、より多くの方に参加していただきたいということならば、手続きを簡略化したり、実態に合った応募方法とするなど考えていただきたいと思います。

和 田 委 員 PRに関してですが、どうしても、印刷物を配布するとPRができて、市民全員に周知されるという風に考えてしまいがちだと思いますが、印刷物は読む層が限られていて、例えば、市政だよりにしても、読む人は毎号しっかりと読むものの、読まない人は全く読まないということが実態ではないのでしょうか。

市政だよりの他、ホームページを積極的に活用するとともに、例えば、夏休み前に教員から「夏休み中に〇〇センターでこのような企画がある。」というようなことを子どもたちに話してもらえれば、興味を持つ子どもたちも増えるのではないのでしょうか。

その他、科学館で、高校生を対象にした企画があったということでした。参加人数は少なかったようですが、高校生を対象とした少し専門的な分野の企画は少ないように思いますので、参加人数が少なくとも、根気強く継続して実施していただければと思います。

津田委員長 参加者の年齢別の統計などはとっていますか。

中央図書館管理課長 「お話し会」は年齢別に対象を分けて実施しているので、小学校入学前、小学生といった対象分けて統計はとっています。

議案第46号 千葉市教育委員会組織規則の一部改正について

津田委員長 総務課長、説明をお願いします。

総務課長 議案第46号「千葉市教育委員会組織規則の一部改正について」、説明します。

千葉市新港学校給食センターの供用開始による、平成22年10月1日付け組織改正に伴う所要の改正を行うため、規則の一部を改正しようとする事について、同規則第8条第2号の規定に基づき議決を求めるものです。改正の概要ですが、新港学校給食センターの供用開始に伴い、(1)他の学校給食センターとの連絡調整に関する事。(2)学校給食センターの予算、決算等のとりまとめに関する事。(3)千葉市学校給食センター運営委員会に関する事。以上の事務の所掌を、若葉学校給食センターから新港学校給食センターに変更するものです。施行期日は平成22年10月1日です。

議案第47号 千葉市生涯学習審議会委員の任命について

委員長 生涯学習振興課長、報告をお願いします。

生涯学習振興課長 議案第47号「千葉市生涯学習審議会委員の任命について」、説明します。

委員の離任に伴い、千葉市生涯学習審議会設置条例第3条第2項の規定により、「小川隆」、「鳥越將功」を新たに委員に任命しようとするものです。任命年月日は平成22年9月21日、任命期間は平成22年9月21日から平成23年11月30日までです。委員の構成、委員数、設置目的、主な活

動内容等は記載のとおりです。

議案第48号 平成22年度千葉市教育功労者表彰について

委員長 総務課長、説明をお願いします。

総務課長 議案第48号「平成22年度千葉市教育功労者表彰について」、説明します。

平成22年度千葉市教育功労者として、議案書27ページから29ページに掲げる方々を表彰することについて、千葉市教育委員会組織規則第8条第7号の規定に基づき議決を求めるものです。

表彰者の内訳ですが、学校保健関係は8人。内訳は学校医4人、学校歯科医3人、学校薬剤師1人。生涯学習関係は5人。内訳は社会教育関係4人、文化芸術関係1人。学校教育関係は36人。内訳は校長35人、事務職員1人。以上、個人49人と、小学校5校、中学校2校の団体7校です。各表彰者の推薦理由等については、別冊の「平成22年度 千葉市教育功労者表彰について [参考資料]」をご覧ください。なお、表彰式は、11月11日（木）午前10時30分から、ホテルポートプラザちばで開催の予定です。

議案第49号 職員の人事について

委員長 総務課長、説明をお願いします。

総務課長 議案第49号「職員の人事について」、説明します。

平成22年10月1日付け、管理職に関する人事について、千葉市教育委員会組織規則第8条第5号の規定に基づき議決を求めるものです。今回の人事発令は、10月1日の新港学校給食センターのオープンに伴うもので、所長には若葉学校給食センター所長の高橋義郎を、また、所長補佐には同じく若葉学校給食センター所長補佐の秋田敬子を発令するものです。なお、若葉学校給食センター所長は新港学校給食センター所長が兼務します。

## 8 その他

(1) 養護学校について、岩沼委員より次のとおり質問があった。これに関連し、次のとおり質疑応答等があった。

岩沼委員 以前、養護学校を視察した際、現場の教職員に、現在どのような問題があるか質問したところ、「生徒数の増加により、生徒数に合った施設の確保ができていないこと。」、「教職員の増員により、職員室も必要なスペースがとれない状況であるこ

と。」「建物にガラスが多用されているため室内が暑く、使用できない教室があること。」「雨漏りが多く対応に困っている。」といった回答がありました。今年の酷暑、豪雨の影響も大きなものではなかったでしょうか。視察後、対処、改善等が何か進んでいますか。

指導課長 平成22年度の高等部の生徒数は146人で、学級数も21年度の20学級から1学級増えています。学校全体として、更衣室、作業室等含めて教室は不足している状況です。根本的な解決にはなりません、廊下が広くとられているので、廊下スペースを活用して、間仕切りにより更衣室や個別指導に充てるためのスペースを作って対応しています。また、教職員数は今年度100人と増加しており、職員室のスペースをやり繰りして対応していますが、かなり手狭な状態となっています。

学校施設課長 教室不足対応として、平成18年度に仮設校舎で4教室設置しましたが、仮設の許可期間が終了するため、今年度、本設のプレハブを4教室分設置し、既存の仮設校舎は撤去する予定としています。生徒増に伴うスペース不足については、相談室の空きスペースなどを活用して対応している状況とのことであり、学校の工夫に頼っている状況です。

暑さ対策ですが、一部の授業をエアコンの設置されている図書室、食堂で行うなど学校での工夫で対応しています。

今後については、今年の暑さもあり、エアコン設置についても問題提起されていますが、財政的にエアコン設置が難しい中で、それ以外の方法として「緑のカーテン」の設置について検討したいと考えています。「緑のカーテン」については、現在、各学校で取り組んでいただいています、来年度に向けて、学校施設課でも設置方法やネットの張り方、栽培方法等についてマニュアルを整備していきたいと考えています。

岩沼委員 施設的な部分は学校の工夫に任せているとのことですが、生徒数が増加していくということは、かなり以前から予想されていたことではないでしょうか。しかも、教育委員が視察に行き、状況の聞き取りをしてきても対処が出来ないとなると、学校も生徒・保護者もどこに言ったらいいいのかということになってしまいます。財政状況からハードルはかなり高いと思いますが、根本的な解決のためにはどのようにしたら良いのかというところを示してください。



学校教育部長 養護学校の生徒数増についてですが、高等部が増えているということが一番大きな要因となっています。それを対症療法でなく根本的に改善するということになる、高等特別支援学校として、高等部を独立した学校とすることが有効な手段と考えており、現在、ワーキンググループを作って検討を行っています。また、学校教育推進計画においても、平成27年度までに高等部の設置を推進するとしています。

岩 沼 委 員 計画では平成27年度までに、とのことですが、設置期限を前倒ししなければならない状況も考えられると思います。たとえ1年の遅れでも、子どもにとってはその影響は大きなものであると思いますので、できる限り速やかな検討～実施をお願いします。

津田委員長 対症療法と並行して、根本解決に向けた具体的な対応を取っていただきたいと思います。委員の指摘・要望事項としてしっかり受け止めてください。

(2) 今夏の酷暑、豪雨等への対応について、和田委員より次のとおり質問があった。

これに関連し、次のとおり質疑応答等があった。

和 田 委 員 今年の夏は非常に暑く、夏休みが明けた現在も暑さが続いています。部活動や体育祭・運動会の練習などの際、暑さにより児童生徒に熱中症などの症状が出たといった報告はあるのでしょうか。

保健体育課長 特に学校からの報告はありませんが、教育委員会としても暑さ対策は学校任せにせず、例えば体育祭等を予定している学校については事務局と学校が連絡を取り合い、休憩の入れ方等に至るまで細かくやり取りをするなど配慮しています。また、子どもたちの状態をよく把握するように全校に通知するなど対応しています。

和 田 委 員 先ほどの豪雨被害の件の中でもありましたが、気象の大きな変化は今後も予想されると思います。これまで学校施設については、地震対策の面から耐震性能の確保を中心に考えてきたと思いますが、これからは中長期的な気象状況の変化を視野に入れて、学校のハード面、ソフト面を考えていかなければならないのではないのでしょうか。ソフト面では、秋に行っている体育祭・運動会を春に行う、夏休みを長くして冬休み等で調整する、また、ハード面ではエアコンを設置するなど、色々考えられてくると思います。

(3) 平成22年9月30日付け任期満了に伴い退任する岩沼静枝委員から挨拶があった。

(4) 次回第10回定例会は、平成22年10月20日（水）午後2時00分より開催することと決定した。また、第4回臨時会を10月6日（水）午後開催することと決定した。

## 9 閉会

津田委員長より閉会を宣言